別紙様式（Ｂ４横型）

学校番号 60

平成31年度　学校自己評価表　（計画段階・実施段階）

福岡県立糸島農業高等学校長　印

（全日制）

学校運営計画（４月）			評価（３月）
学校運営方針	鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばすことにより、「志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心をもつ、たくましい生徒」、「自ら考え、多様な価値観の人々と協働し、課題を解決できる生徒」、「キャリア教育を充実し、企業が求める実践的な人材」の育成を目指す。生徒一人ひとりを大切にするとともに、学校集団としての連携感を高めコミュニケーション能力を高めることで社会性を育み、心豊かな人間形成を目指した組織的・計画的な教育活動を展開する。		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
【成果】 ○授業規律に対する全職員の共通理解を図る取組。 ○中学校・塾教師向け学校説明会を実施した新たな広報活動。 ○自主的な生徒会活動による学校行事の活性化。 ○進学・就職への進路実現に向けた効果的な取組。 【課題】 ○生徒を褒めて伸ばす指導の一層の推進。 ○教師・生徒の危機管理に対する意識の向上への取組。 ○大学等進学希望実現のための計画的・継続的な取組の実践。 ○効果的な広報活動による地域との連携・協力体制の推進。	教育活動全体をとおして、鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばす教育を行う。	３アップ糸農（キャリアアップ、マナーアップ、クリーンアップ）に基づいた学校経営を行い、中学校訪問を定期的に行い、目的意識を持つ生徒の志願者の確保に努める。体験入学、中学校への出前授業を充実し、ホームページ、広報誌を生かした広報活動を促進する。	
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、確かな学力と実践力の向上を目指す。	学習意欲を喚起する内容やＩＣＴ活用、アクティブ・ラーニングの手法を用いた授業改善を図るために、職員研修会を積極的に実施する。	
	キャリア教育の充実を図り、生徒の希望する進路実現に向けて、早期からの組織的、体系的指導を行う。	各学年と定期的な協議を行い、３年間を見通したキャリア教育プランの充実を図り、希望進路１００％の実現を目指す。さらにスペシャル研修を実施し、国公立大学への進学者を輩出するため、進学指導を充実させる。	
	基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚を図るとともに、自立心と思いやりのある心豊かな人間形成を目指す。	いじめや人権・同和問題等の解決を図るため、人権教育を充実させる。そのため、保護者も研修会への参加を促し連携した指導を行う。さらに、個に応じた対応が迅速にできるよう、支援委員会等を定期的に開催し、生徒指導を教職員で共有して、組織的に行う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（３月）			次年度の主な課題
教務	授業を改善し、生徒の学力を向上させる。	授業アンケートの内容をより「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ったものにする。				
		成績不振者指導を含めて欠点保持者への指導方法を改善する。				
	入学志願者を増加させる。	保護者への説明会等の案内を積極的に行い、昨年度より参加者を増加させる。				
		広報課と連携し、体験入学や学校説明会などの参加者に合わせて資料を作成する。				
生徒指導	規範意識を向上させる。	頭髪服装検査・遅刻指導カード・身だしなみ注意カード等を積極的に活用し、細やかな指導を全職員で行う。				
		授業規律とマナー向上が生徒自身の進路実現につながることを理解させ、様々な学校生活において徹底させる。				
	生徒会の自主的活動を育成する。	部活動加入率７０％を目指す。また、その環境作りを行う。				
		生徒が、行事の企画や運営を出来るように指導し、生徒が学校の諸問題にも関心を持ち、行動が出来るよう指導する。				
進路指導	キャリア教育のさらなる充実を図る。	進路の手引きを改善し、１学年から３学年まで計画的にｿｰｼｬﾙｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞを実施する。				
		マナーや敬語などインターンシップに向けた事前指導の充実を図り、企業評価を向上させる。				
	希望進路の１００％実現を目指す。	学年、学科の面接指導回数を増加させ、就職１次試験の合格率を向上させる。				
		小論文模試の事前指導の回数を増やし、作文力を向上させ、進学合格率１００％を目指す。				
保健	美化委員会活動を活性化する。	「美化コンクール」「美化通信」「美化ボード」等を通じて校内美化の徹底を図る。				
		日常的にゴミの削減・分別を徹底し、学校行事等で啓発活動に努める。				
	保健委員会活動を活性化する。	保健委員会活動として、「正しい姿勢」を意識する呼びかけを中心に活動を行う。				
		生徒自ら健康管理ができる能力を育成するため、情報を発信する。				
企画庶務	学校行事等の円滑な企画及び運営に参画する。	各分掌との連携を適宜行い、ゆとりをもって調整できるように心がける。				
		防災避難訓練の実施や危機管理マニュアルの見直し等を行う。				
	ＰＴＡ活動の支援を行う。	本部役員との連絡および調整を図るとともに、各委員会活動を支援する。				
		次年度役員改正に向けて、担任等の協力を得ながら、本部役員活動を支援する。				
研修	職員研修を充実させる。	年間７回の職員研修の実施に加え校外研修も適宜紹介し、研究紀要等に実績を残していく。				
		各課への要望アンケートや研修後の職員の感想等から、常に職員の研修ニーズを読み取り応える努力をする。				
	教科指導力を向上させる。	本校の課題を勘案した上でテーマを設定し、それに則した授業を展開する。				
		相互授業参観や公開授業の機会を設定し、今後の課題を知り、より良い指導法を研究する。				
広報	学科ごとの志願者定員を確保する。	学校案内パンフレット等の広報資料を見直し、充実した資料の作成を行う。				
		教務課・農務と連携し、体験入学や学校説明会などの学校紹介イベントを実施する。				
	学科紹介のための広報活動を充実させる。	定期的に更新し、学校ホームページの充実を図る。				
		中学生や地域への広報活動として、「糸農だより」やプレスリリースの発信を行う。				

別紙様式（Ｂ４横型）

学校番号 60

平成31年度　学校自己評価表　（計画段階・実施段階）

福岡県立糸島農業高等学校長　印

（全日制）

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（３月）			次年度の主な課題
農務	研修や特色ある活動により専門力（教科指導力）の向上を図る。	校内研修会の実施と外部研修参加の環境を整備する。				
		地域連携活動や商品開発等の特色ある活動による主体的で深い学びにより実践力を育成する。				
	農業クラブ活動の充実と次年度事務局態勢を確立する。	役員を中心として学校農業クラブ活動や地域連携活動に主体的に取り組むことで活性化を図る。				
		主体的活動により次年度県連事務局・九連事務局としのリーダーを育成し、運営態勢を整える。				
人権･同和教育	具体的でわかりやすい人権・同和教育の教材を研究・開発する。	ＰＴＡと連携して、性的マイノリティの事例に学びながら、学校全体の人権感覚を高める。				
		人権・同和教育を通して、地域や小・中学校との連携を深め、「つながり」を大切にする。				
	本人の責任ではない理由で修学が困難な生徒を組織的に支援する。	家庭との連携を深め、配慮を必要とする生徒についての情報共有を職員間で速やかに行う。				
		特別支援を含む修学支援のスキル向上のために、全職員に対する情報提供を積極的に行う。				
第１学年	基本的生活習慣を確立する。	朝早い登校を習慣づけ、１日の良いリズムを作り、遅刻・早退・欠席を減らす。				
		挨拶、身だしなみ、授業に取り組む姿勢について、繰り返し指導を行うことで徹底させる。				
	基礎学力と進路意識の向上を図る。	０トレや朝トレ、宿題を通して基礎学力の向上を図る。				
		総合的な探求の時間やＨＲ、個人面談を通して進路について考える機会を設け、進路意識を高める。				
第２学年	基本的生活習慣の確立と挨拶の徹底	家庭と連絡を密に取ると同時に、職員間においても連携を図り、基本的生活習慣の確立を図る。				
		日頃から頭髪服装の身だしなみを整えさせ、高校生らしい服装・行動・挨拶を周知徹底させる。				
	進路意識の向上と自己実現ができる資質・能力の育成	総学・HR、進路説明会、インターンシップやオープンキャンパス等、校内外で進路意識の向上を働きかける。				
		進路実現のために必要不可欠な資格・検定取得に積極的に取組ませる。				
第３学年	授業規律の確立と基礎学力の向上を図る	机上および机周辺を整理整頓させ、落ち着いた授業態度を徹底する。				
		朝トレや宿題で基礎学力の定着を図ると同時に、基礎学力テストに対して目標を持たせ頑張らせる。				
	進路実現に向け、一般常識・礼儀やマナーを身につけさせる	朝トレや宿題で就職・進学の対策を行い、面接指導を通して、進路実現に必要な力を身につけさせる。				
		進路指導課と連携し、講師を招聘し進路講話を実施する。				
事務室	適切な会計処理と保護者負担の軽減	会計処理について法令順守を徹底させるとともに、節減を実施し、限られた予算の効率的な執行を行う。				
		保護者負担軽減の観点から、就学支援金等事務を確実に実施するとともに、徴収金の見直しを検討する。				
	農場管理の充実及び発展	平成29年度からの新たな職種である技師の業務内容の確立及び教員との連携により、農場管理の充実を図る。				
		学校での生産物販売において、より厳密な法令順守の手続きを行う。				